

記入例

申請書（請求書）に記入した配偶者および扶養義務者全員分必要です。
 ※複数枚申立書が必要な場合は、最終ページの申立書をコピーしてください。
 ※申請者と対象児童のみの世帯であればこの申立書は不要です。

配偶者・扶養義務者の続柄・氏名を記入

ととなります。

①申請者と生計を同じくする方の属性

父母 祖父母

氏名 **親子 秋男**

家計急変後の1ヶ月（令和2年2月以降の任意の月）の年月を記入
 ・新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少のため、令和2年1月分以前に働いた分の給与を支給された月は該当になりません。

②令和2年2月以降の任意の月の収入（1か月）の内訳及びその合計額をご記入ください。

		令和 4年 6 月				円		注意事項
収入内訳	給与収入 【a】			200,000				※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入 【b】							※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金収入 【c】 (*)			15,760				(*) 家計急変後の1ヶ月が年金支給月でない場合でも1ヶ月あたりの年金収入を記入
収入合計額 【a + b + c】				215,760				※太枠の収入額の合計額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

×12

③②の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額 **2,589,120** 円

④①の方が生計を同じくしている親族の氏名をご記入ください。【☆】

フリガナ 氏名	該当する場合は○ 70歳以上（配偶者以外） の親族	フリガナ	該当する場合は○
1			
2			
3			
4			
5			

収入合計額を12倍します。
 (例) 215,760円×12=2,589,120円

申請時点で生計を同じくして養っている親族（税法上の扶養親族等）を記入
 氏名の右の年齢に該当する場合は「○」を記入してください。

⑤④でご記入

④の人数にチェックしてください。		基準額	【要件チェック】	
<input checked="" type="checkbox"/>	人数		i 左側で選択した基準額	3,725,000 円
	0人	3,725,000円	ii ④の○の数×60,000円	0 円
	1人	4,200,000円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
	2人	4,675,000円	収入基準額 (i + ii)	3,725,000 円
	3人	5,150,000円	V	
	4人	5,625,000円	年間収入見込額 (③)	2,589,120 円
	5人	6,100,000円		
	人	円		

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

→【要件】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。

※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

署名欄は裏面です

(裏面に続きます。)

申請時の確認事項となりますので、申請前にご確認ください。

【確認事項】（各項目をご確認ください）

- ・【要件】に該当します。
- ・収入額が分かる書類（給与明細書や年金額改定通知書等）を提出しています。
- ・今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- ・給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、市区町村等が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- ・本申立の内容に相違ありません。

【確認事項】を確認・同意の上、申し立てます。

令和 **4**年**6**月**3**日

申請者氏名 親子 花子

扶養義務者氏名 親子 秋男

【要件】（③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと）に

→ 該当している場合

収入見込額が分かる書類を揃えて、申請者・扶養義務者がそれぞれ署名の上ご提出ください。

→ 該当していない場合

収入見込額だけではなく所得控除も用いた所得で判定する「簡易な所得見込額の申立書」もあります。

※申立書・申請書等はホームページでダウンロードいただくか、お問い合わせください。（表紙参照）